

# 市民アンケート調査の結果概要について

## 調査の概要

### 1 調査の目的

本調査は、高齢者の生活状況や健康状態、介護サービスに対する意識等を把握することにより、次期南相馬市高齢者総合計画（第9期高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画）を策定するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

### 2 調査の対象

#### ●介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

南相馬市内に居住している、介護保険の要介護認定を受けていない65歳以上の方を調査の対象とし、年齢、男女比など考慮した上で、層化無作為抽出法により抽出しました。

#### ●在宅介護実態調査

南相馬市内に居住している、介護保険の要支援・要介護の認定を受けている方を調査の対象とし、年齢、男女比、要介護度など考慮した上で、層化無作為抽出法により抽出しました。

### 3 調査の方法

郵送による配布・回収

### 4 調査の実施時期

令和2年1月14日(火)～令和2年1月31日(金)

※集計処理にあたっては、令和2年2月10日(月)着分の調査票まで含めています

### 5 配布・回収の結果

種 類	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000 件	1045 件	52.3%
在宅介護実態調査	1,000 件	498 件	49.8%

## 6 報告書の表記及び注意点について

---

- (1) 調査数 (n = number of cases) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示しています。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合があります。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (3) 調査数 (n) が少数の場合、統計上の回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析を省略している場合があります。
- (4) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合があります。
- (5) クロス集計結果のグラフや表においては、無回答の分析軸を掲載していないことから、分析軸の調査数 (n) を合計しても全体の調査数 (n) にならない場合があります。

# 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

## ① 想定されるリスクについて

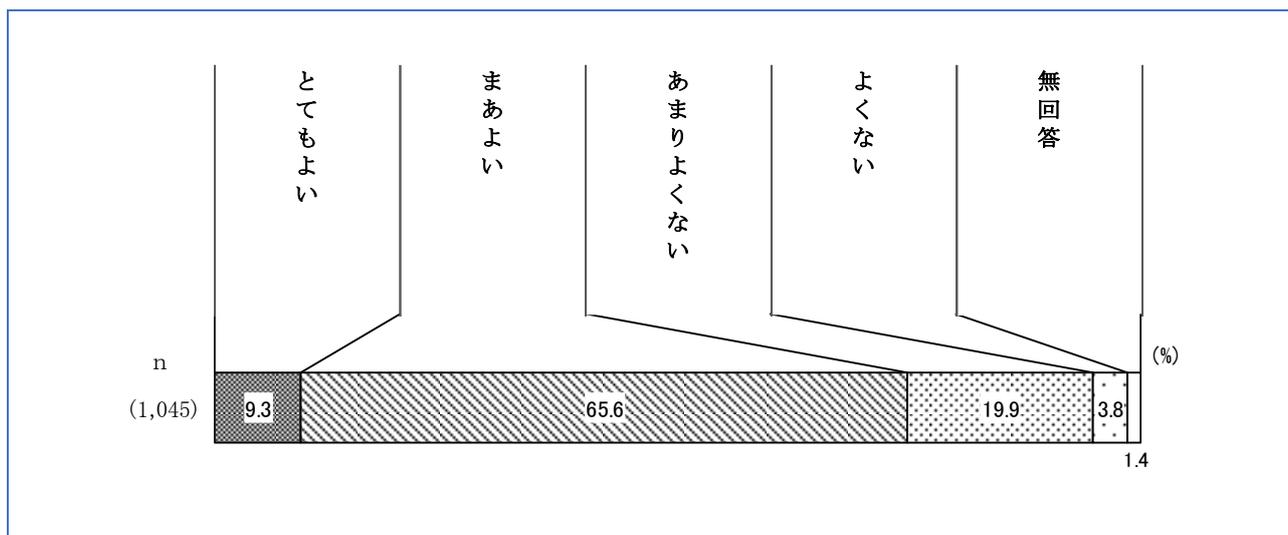
	回答者数 (人)		運動リスク 該当者 (%)		転倒リスク 該当者 (%)		閉じこもり 傾向有り (%)		口腔リスク 該当者 (%)		低栄養リスク 該当者 (%)		認知リスク 該当者 (%)		うつリスク 該当者 (%)		
	今回 調査	前回 調査	今回 調査	前回 調査	今回 調査	前回 調査	今回 調査	前回 調査	今回 調査	前回 調査	今回 調査	前回 調査	今回 調査	前回 調査	今回 調査	前回 調査	
全体	1,045	525	16.2	16.4	33.2	31.4	18.4	20.2	26.9	27.6	1.1	1.1	61.0	50.5	44.9	44.2	
年齢	65歳～69歳	276	149	6.9	7.4	24.3	21.5	9.8	14.1	23.6	20.8	1.1	0.7	61.6	36.9	43.8	42.3
	70歳～74歳	264	135	6.4	8.9	32.2	26.7	13.6	14.8	23.9	21.5	0.8	0.7	51.5	49.6	43.6	39.3
	75歳～79歳	211	106	15.2	11.3	31.8	29.2	16.1	15.1	24.2	24.5	0.9	0.9	58.3	57.5	38.9	46.2
	80歳～84歳	133	76	29.3	31.6	39.1	51.3	20.3	30.3	29.3	42.1	0.0	2.6	68.4	64.5	46.6	48.7
	85歳以上	132	56	43.2	44.6	49.2	44.6	47.7	46.4	44.7	44.6	3.0	1.8	72.7	57.1	55.3	50.0
性別	男	465	233	11.4	11.6	32.0	30.0	15.7	19.7	28.6	27.0	1.5	0.4	60.2	45.9	40.6	43.8
	女	563	289	20.2	19.7	34.6	32.2	20.8	20.8	26.1	27.7	0.7	1.7	61.1	54.3	48.0	44.3
要介護度	要支援1	33	5	54.5	20.0	60.6	20.0	48.5	40.0	42.4	40.0	0.0	20.0	84.8	60.0	60.6	40.0
	要支援2	16	2	75.0	50.0	43.8	100.0	75.0	100.0	56.3	50.0	6.3	0.0	56.3	0.0	56.3	50.0
	認定なし	798	376	12.9	15.7	32.2	30.3	15.0	19.9	25.9	27.7	1.0	1.1	59.6	48.7	44.4	44.9
地区	小高中学校区	132	40	17.4	20.0	34.8	27.5	17.4	17.5	31.8	32.5	0.8	0.0	66.7	55.0	47.7	45.0
	鹿島中学校区	188	92	12.2	14.1	32.4	29.3	17.0	28.3	23.9	20.7	0.0	1.1	55.9	54.3	45.7	37.0
	原町第一中学校区	253	129	16.6	13.2	32.8	28.7	19.8	14.0	24.1	32.6	1.6	0.8	59.3	51.2	43.5	43.4
	原町第二中学校区	163	85	18.4	14.1	30.7	31.8	17.8	11.8	27.6	21.2	1.2	1.2	65.6	40.0	48.5	40.0
	原町第三中学校区	88	43	13.6	25.6	37.5	44.2	19.3	34.9	31.8	37.2	0.0	4.7	63.6	62.8	37.5	53.5
	石神中学校区	193	66	16.1	16.7	32.1	39.4	17.6	27.3	27.5	28.8	1.6	0.0	57.5	54.5	43.5	43.9

数字：白 前回調査から10ポイント以上の増加  
数字：黒 前回調査から10ポイント以上の減少

アンケート結果の回答から各種リスクの該当者をみると、全体では「認知リスク該当者」(61.0%)が最も多く、「うつリスク該当者 (44.9%)」、「転倒リスク該当者 (33.2%)」と続いています。

前回調査と回答者数に違いはあるものの、各種リスク割合の順位について変動はありません。一方、「認知リスク該当者」については、今回調査 (61.0%) と前回調査 (50.5%) で 10.5 ポイント上昇しており、他の項目と比較して大きく上昇しています。

## ② 健康状態について

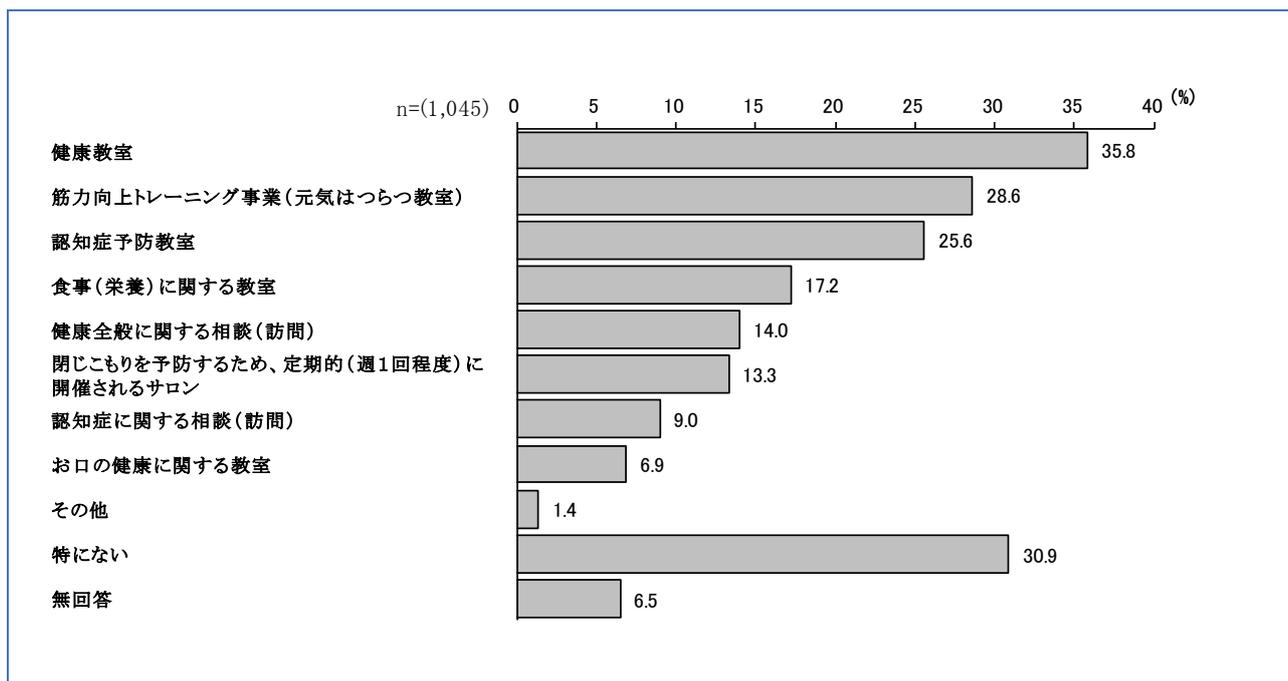


現在の健康状態は、「とてもよい」(9.3%)、「まあよい」(65.6%)を合わせると、74.9%が健康状態はよいと回答しています。

また、「よくない」(3.8%)、「あまりよくない」(19.9%)を合わせると、23.7%が健康状態はよくないと回答しています。

今回回答		前回回答		差
とてもよい	9.3%	とてもよい	9.0%	0.3
まあよい	65.6%	まあよい	64.6%	1.0
あまりよくない	19.9%	あまりよくない	22.5%	-2.6
よくない	3.8%	よくない	2.5%	1.3

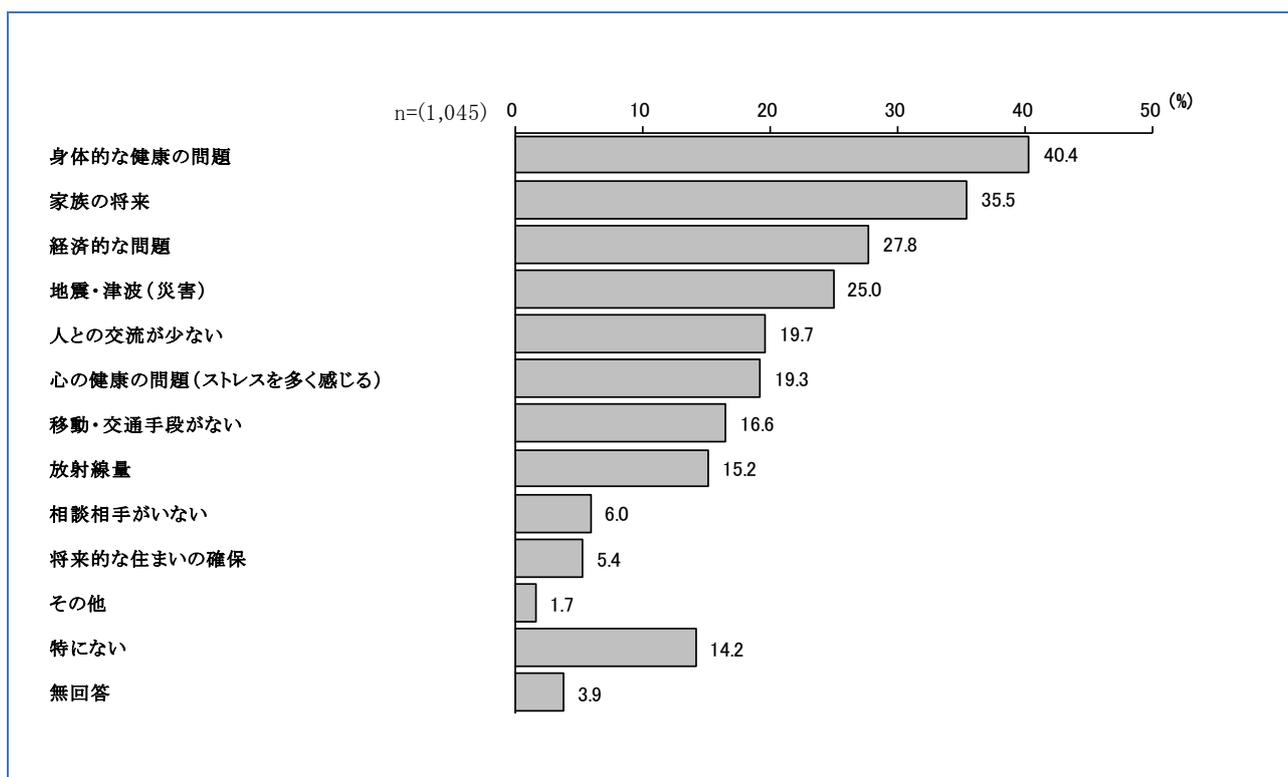
③ 健康づくりや介護予防の教室で利用したいもの



健康づくりや介護予防の教室で利用したいものは、「健康教室」が35.8%で最も多く、次いで「筋力向上トレーニング事業(元気はつらつ教室)」(28.6%)、「認知症予防教室」(25.6%)と続いています。

今回回答		前回回答		差
健康教室	35.8%	健康教室	36.0%	-0.2
筋力向上トレーニング事業(元気はつらつ教室)	28.6%	筋力向上トレーニング事業(元気はつらつ教室)	29.3%	-0.7
認知症予防教室	25.6%	認知症予防教室	24.6%	1.0
食事(栄養)に関する教室	17.2%	食事(栄養)に関する教室	18.3%	-1.1
健康全般に関する相談(訪問)	14.0%	健康全般に関する相談(訪問)	15.2%	-1.2

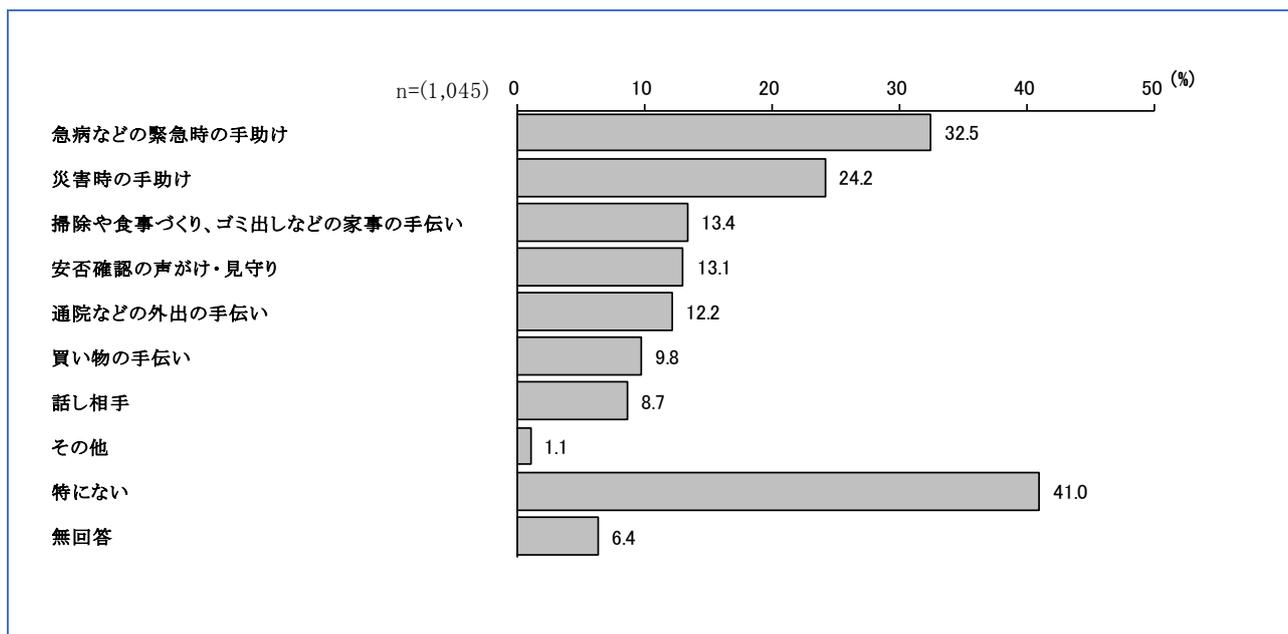
#### ④ 日常生活の不安



震災以降、日常生活で不安に感じていることは、「身体的な健康の問題」が40.4%で最も多く、以下「家族の将来」(35.5%)、「経済的な問題」(27.8%)、「地震・津波(災害)」(25.0%)、「人との交流が少ない」(19.7%)と続いています。

今回回答		前回回答		差
身体的な健康の問題	40.4%	身体的な健康の問題	45.9%	-5.5
家族の将来	35.5%	家族の将来	33.3%	2.2
経済的な問題	27.8%	経済的な問題	27.6%	0.2
地震・津波(災害)	25.0%	地震・津波(災害)	20.6%	4.4
人との交流が少ない	19.7%	人との交流が少ない	21.3%	-1.6

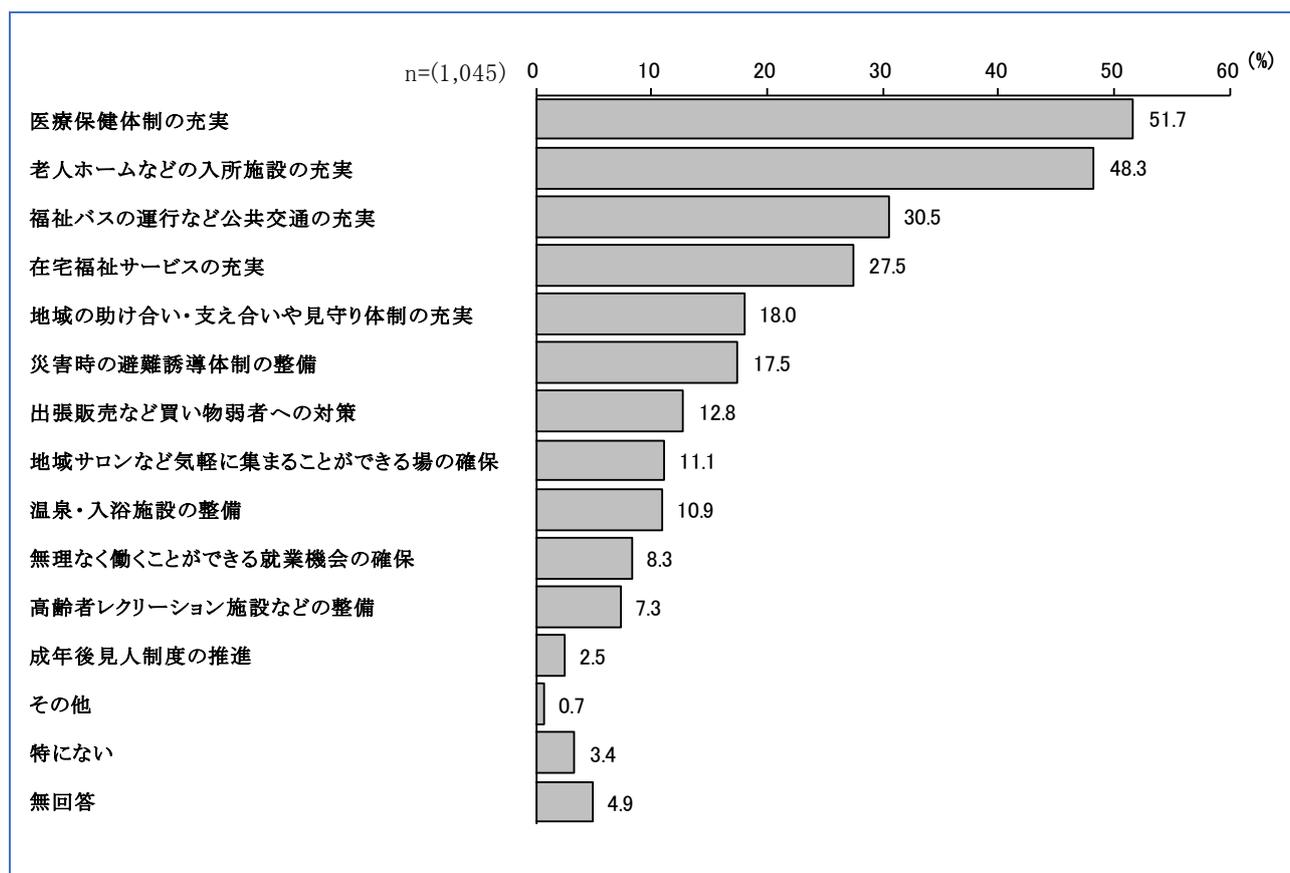
⑤ 日常生活を送るうえで協力してもらえたら助かること



日常生活を送るうえで協力してもらえたら助かることは、「急病などの緊急時の手助け」が32.5%で最も多く、次いで「災害時の手助け」(24.2%)、「掃除や食事づくり、ゴミ出しなどの家事の手伝い」(13.4%)と続いています。

今回回答		前回回答		差
急病などの緊急時の手助け	32.5%	急病などの緊急時の手助け	33.9%	-1.4
災害時の手助け	24.2%	災害時の手助け	23.8%	0.4
掃除や食事づくり、ゴミ出しなどの家事の手伝い	13.4%	掃除や食事づくり、ゴミ出しなどの家事の手伝い	14.1%	-0.7
安否確認の声かけ・見守り	13.1%	安否確認の声かけ・見守り	10.3%	2.8
通院などの外出の手伝い	12.2%	通院などの外出の手伝い	12.8%	-0.6

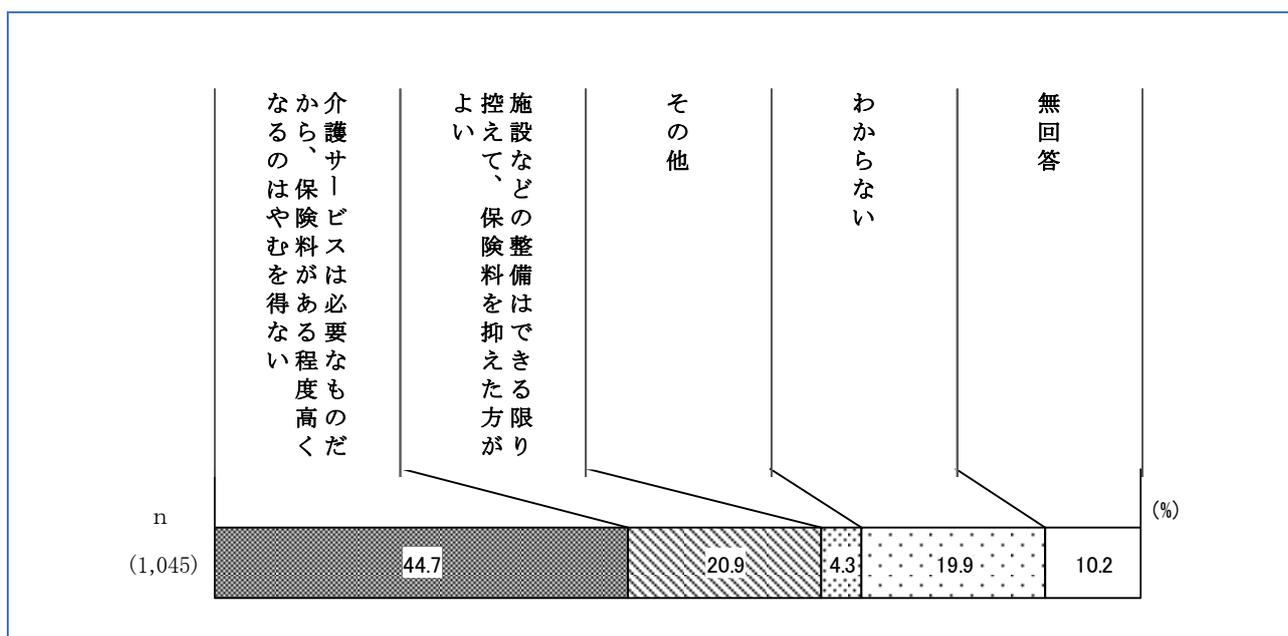
## ⑥ 力を入れるべき高齢者福祉施策



市が現在実施している高齢者福祉施策の中で特に力を入れるべきものは、「医療保健体制の充実」が51.7%で最も多く、次いで「老人ホームなどの入所施設の充実」(48.3%)、「福祉バスの運行など公共交通の充実」(30.5%)と続いています。

今回回答		前回回答		差
医療保健体制の充実	51.7%	医療保健体制の充実	52.2%	-0.5
老人ホームなどの入所施設の充実	48.3%	老人ホームなどの入所施設の充実	48.0%	0.3
福祉バスの運行など公共交通の充実	30.5%	福祉バスの運行など公共交通の充実	30.9%	-0.4
在宅福祉サービスの充実	27.5%	在宅福祉サービスの充実	25.1%	2.4
地域の助け合い・支え合いや見守り体制の充実	18.0%	地域の助け合い・支え合いや見守り体制の充実	17.9%	0.1

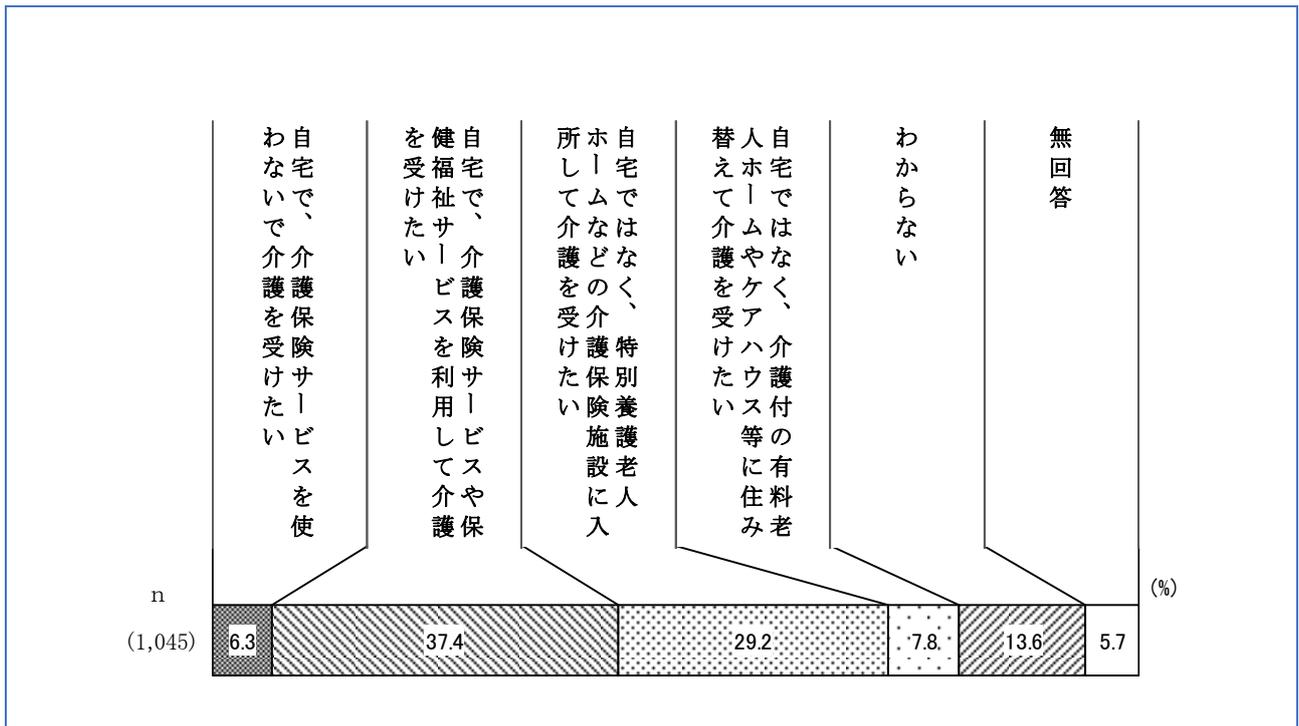
⑦ 介護保険のサービスと保険料の関係について



介護保険のサービスと保険料の関係については、「介護サービスは必要なものだから、保険料がある程度高くなるのはやむを得ない」が44.7%で最も多く、次いで「施設などの整備はできる限り控えて、保険料を抑えた方がよい」(20.9%)となっています。

今回回答		前回回答		差
介護サービスは必要なものだから、保険料がある程度高くなるのはやむを得ない	44.7%	介護サービスは必要なものだから、保険料がある程度高くなるのはやむを得ない	43.8%	0.9
施設などの整備はできる限り控えて、保険料を抑えた方がよい	20.9%	施設などの整備はできる限り控えて、保険料を抑えた方がよい	22.5%	-1.6
わからない	19.9%	わからない	18.7%	1.2

⑧ 将来希望する介護について



将来介護が必要になった場合に希望する介護は、「自宅で、介護保険サービスや保健福祉サービスを利用して介護を受けたい」が37.4%で最も多く、次いで「自宅ではなく、特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所して介護を受けたい」(29.2%)、「自宅ではなく、介護付の有料老人ホームやケアハウス等に住み替えて介護を受けたい」(7.8%)となっています。

今回回答				前回回答			
自宅で、介護保険サービスを使わないで介護を受けたい	6.3%	自宅計	43.7%	自宅で、介護保険サービスを使わないで介護を受けたい	5.9%	自宅計	45.9%
自宅で、介護保険サービスや保健福祉サービスを利用して介護を受けたい	37.4%			自宅で、介護保険サービスや保健福祉サービスを利用して介護を受けたい	40.0%		
自宅ではなく、特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所して介護を受けたい	29.2%	自宅以外計	37.0%	自宅ではなく、特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所して介護を受けたい	29.0%	自宅以外計	36.6%
自宅ではなく、介護付の有料老人ホームやケアハウス等に住み替えて介護を受けたい	7.8%			自宅ではなく、介護付の有料老人ホームやケアハウス等に住み替えて介護を受けたい	7.6%		

## ⑨ 自由意見

自由意見については、247 件の回答をいただいております。

内容の分類については、以下となります（意見の内容によっては複数項目への分類を行っているため、延べ件数となります）。

項目	件数
1 高齢者施策について	29
2 交通について	12
3 介護保険制度について	40
4 病院・医療・介護施設について	51
5 生活に対する不安について	28
6 経済的負担について	20
7 介護者の負担について	14
8 情報提供について	8
9 災害時の対応	3
10 就労について	3
11 アンケートについて	12
12 行政に対する意見	25
13 その他	50

（意見例）

### 1 高齢者施策について

- ・ 自宅で介護保険サービスや保健福祉サービスを利用して介護を受けたいとの希望は強いものの、その一方、家族も介護に疲れて共倒れになる例も多いこともたしか。そのような時入院可能な病院や施設の入所もなかなか難しいことも現実のように聞きます。要介護状態になるのを未然に防ぐための健康づくりや介護予防教室等の大切さと平行して、保険施設の充実をと望みます。
- ・ 高齢者に対してもっと活動出来る場、活動出来る仕事、活動出来るボランティア等を広げてほしい。

### 3 介護保険制度について

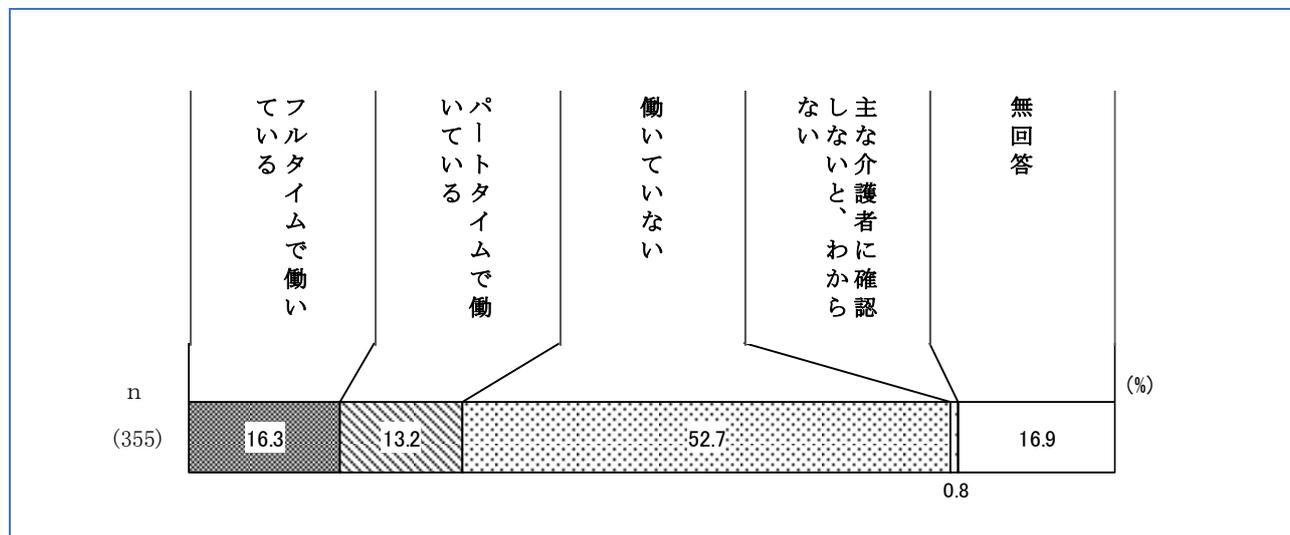
- ・ 介護保険料を出していてもいざという時、利用出来るのかが心配です。
- ・ 将来お世話になることがあるかもしれません。その時は申し込んだらすぐ入居できるようにしてもらいたいです。在宅介護の人にももっと手厚いサービスを望みます。

### 4 病院・医療・介護施設について

- ・ 将来介護が必要になった場合施設希望した時に待たずに自宅から余り遠くない施設に入居出来るような体制づくり希望。又自己負担の軽減も。
- ・ 介護等の施設不足の今度はどうなるのか、世話する人は？南相馬に高齢者が住み続けられるのか将来が不安。

## 在宅介護実態調査

### ① 主な介護者の現在の勤務形態

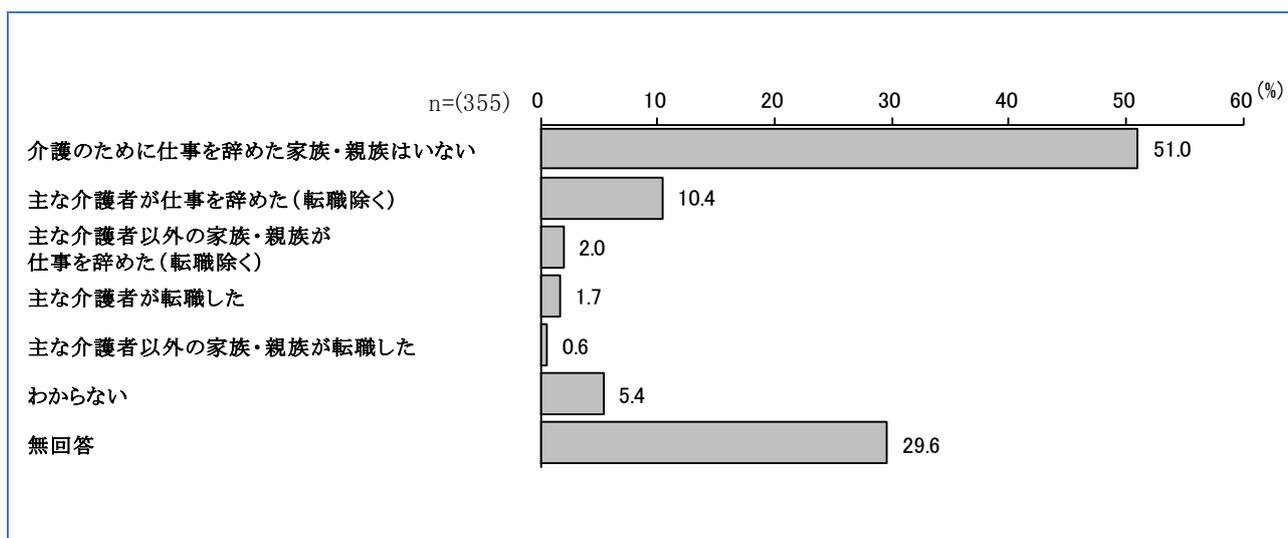


主な介護者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が16.3%、「パートタイムで働いている」が13.2%となっています。

また、52.7%が「働いていない」と回答しています。

今回回答		前回回答		差
フルタイムで働いている	16.3%	フルタイムで働いている	18.1%	-1.8
パートタイムで働いている	13.2%	パートタイムで働いている	13.4%	-0.2
働いていない	52.7%	働いていない	57.9%	-5.2

② 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか

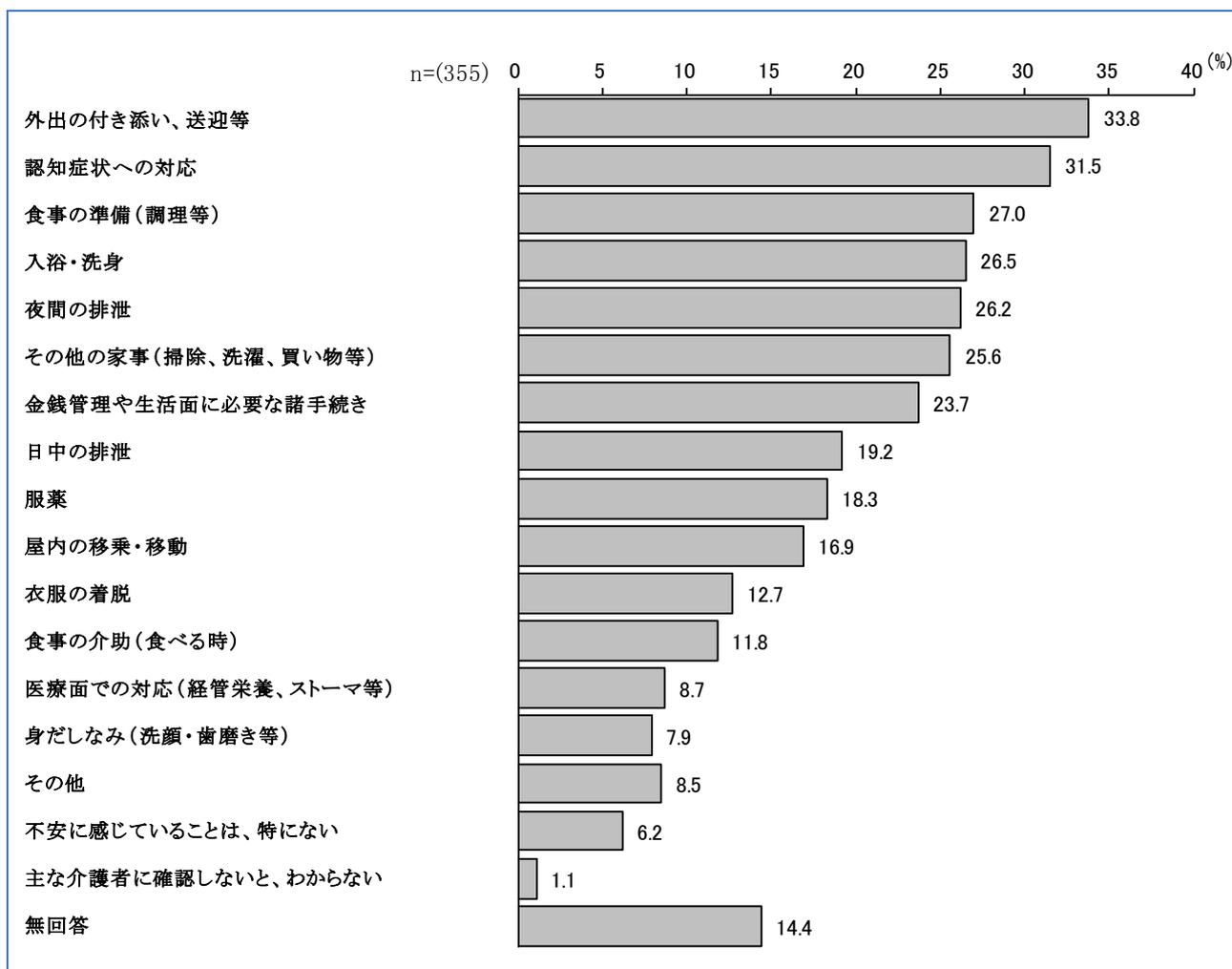


家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかは、51.0%が「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答しています。

その他、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(10.4%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」(2.0%)、「主な介護者が転職した」(1.7%)、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」(0.6%)となっており、介護を理由として離職や転職した家族や親族が14.7%います。

今回回答	割合 (%)	前回回答	割合 (%)	差
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	51.0%	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	54.7%	-3.7
主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	10.4%	主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	14.6%	-4.2
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	2.0%	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	3.9%	-1.9
主な介護者が転職した	1.7%	主な介護者が転職した	2.4%	-0.7

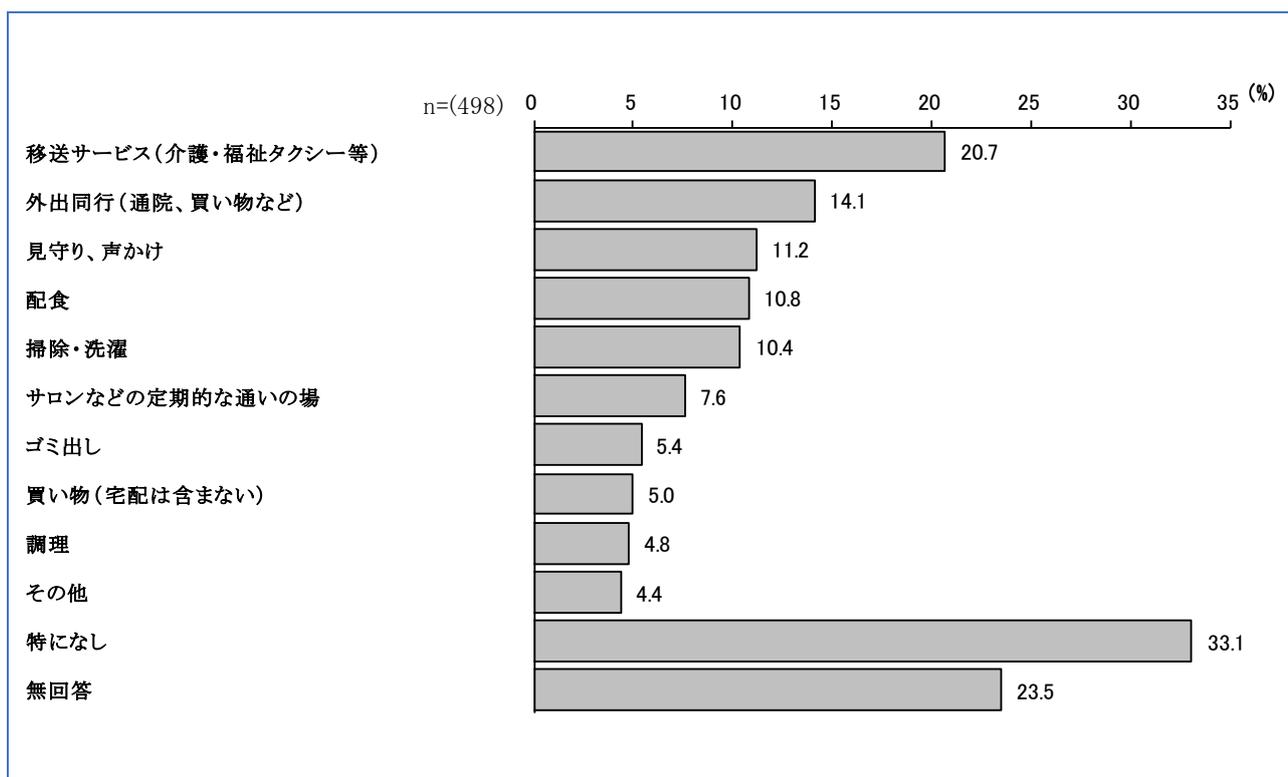
### ③ 主な介護者の方が不安に感じる介護等について



主な介護者が不安に感じる介護等の内容は、「外出の付き添い、送迎等」が 33.8%で最も多く、次いで「認知症状への対応」(31.5%)、「食事の準備(調理等)」(27.0%)、「入浴、洗身」(26.5%)と続いています。

今回回答		前回回答		差
外出の付き添い、送迎等	33.8%	外出の付き添い、送迎等	32.3%	1.5
認知症状への対応	31.5%	認知症状への対応	44.5%	-13.0
食事の準備(調理等)	27.0%	食事の準備(調理等)	29.9%	-2.9
入浴・洗身	26.5%	入浴・洗身	22.0%	4.5
夜間の排泄	26.2%	夜間の排泄	35.8%	-9.6

④ 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて



今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.7%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（14.1%）、「見守り、声かけ」（11.2%）、「配食」（10.8%）と続いています。

また、33.1%は「特になし」と回答しています。

今回回答		前回回答		差
移送サービス（介護・福祉タクシー等）	20.7%	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	25.7%	-5.0
外出同行（通院、買い物など）	14.1%	外出同行（通院、買い物など）	13.2%	0.9
見守り、声かけ	11.2%	見守り、声かけ	15.0%	-3.8
配食	10.8%	配食	10.7%	0.1
掃除・洗濯	10.4%	掃除・洗濯	9.3%	1.1

## ⑤ 自由意見

自由意見については、129件の回答をいただいております。

内容の分類については、以下となります（意見の内容によっては複数項目への分類を行っているため、延べ件数となります）。

項目	件数
1 高齢者施策について	3
2 交通について	5
3 介護保険制度について	33
4 病院・医療・介護施設について	13
5 生活に対する不安について	12
6 経済的負担について	13
7 介護者の負担について	27
8 情報提供について	7
9 災害時の対応	1
10 就労について	3
11 アンケートについて	2
12 行政に対する意見	14
13 その他	25

（意見例）

### 3 介護保険制度について

- ・認定調査の時に、調査員の方は本人の既往症を引き継ぎ事項として持って来ていただけると、調査を受ける側も話し忘れや説明不足がなくて良いのではないかと思います。
- ・ヘルパーさんなど使いたいサービスが充分にない（特に夜間）。訪問看護や在宅診療が大変不足している。在宅で看取りが出来ない。

### 7 介護者の負担について

- ・介護保険サービスに該当しない場合、有料で可能な所があれば助かります。仕事は出来れば続けていきたいので、見守り、買物、受診付添い、家事の一部、夕～夜の安否確認等を行ってもらえる所やサービスがあれば…と思います。
- ・毎日介護をするという事はとても大変でストレスです。1ヶ月に一度でもいいから休みがあるとうれしいです。デイサービスの他にも支援があるといいと思います。